



【令和2年度 障サ協活動テーマ】  
障害者の存在それ自体を我が事とする価値観をもって、諸事業に真摯に取り組む

障サ協  
広報紙

# 山口県障害福祉 サービス協議会通信

発行：山口県障害福祉サービス協議会 広報委員会 〒753-0072 山口市大手町9番6号  
電話：083-924-2799 FAX：083-924-2798 メール：syougai@yg-you-i-net.or.jp

## 会員事業所紹介（第7回）

# 放課後等デイサービス さくら

### 「子どもたちの個性を大切に」自立に向けた援助を一つずつ

広報委員が会員事業所を訪問し、支援現場の雰囲気や職員や利用者との関わり、事業所の特色やアピール点、課題や悩み等についてお聞きする会員事業所紹介です。

今回は、下関市にあります、優しい日差しと木の温もりが感じられる、社会福祉法人緑樹会「放課後等デイサービスさくら」です。管理者の宇内さん、児童発達支援管理責任者の塩谷さん、支援員の松下さんにお話を聞かせて頂きました。

1. 開設の経緯をお聞かせください  
宇内：（末谷千秋理事長に伺った内容を紹介させて頂きます）

放課後等デイサービス「さくら」の開設は、平成27年10月1日です。経営母体の社会福祉法人緑樹会では平成9年に「ケアハウス王喜の郷」

今年7月に完成した現在の「さくら」は、小規模多機能型居宅介護「王喜の郷」の隣に隣接してあり、高齢者と子ども達が日常的にふれあうことができます。

また、「さくら」を通して親同士も繋がりを広げて頂ければと考えました。現在の私達は家族が小さく近隣の

地域と接することも少なくなっています。親にとつての子育ての楽しみは、子どもを通じて様々な気づきや景色を見ることにもあり、その「場」を提供したいと考えました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、人との関わり方が大きく変わろうとしています。人の臭いや涙や笑いがあるコミュニケーションを大切にしていきたいですね。

2. 高齢者施設が隣接していることで、子どもたちに変化はありますか  
宇内：高齢者と日ごろから良く顔を合わせていますし、夏休み期間中には子どもたちがプール遊びをしているのを見に来られたりしています。子どもたちが高齢者に興味を示し、手を振ったり、話

しかけたりしています。塩谷：子どもの元気な声や笑顔を見て、明るくなられる高齢者の方もいらつしゃいます。

3. 現在の利用状況を教えてください  
塩谷：登録利用者数は33名、月当たりは22名です。一日平均8〜9名、長期休暇は10名になる事もあります。支援員は1日平均3〜4名の配置です。



放課後等デイサービス さくら  
設置法人：社会福祉法人緑樹会  
実施事業：放課後等デイサービス（管理者：宇内友哉）  
〒750-1114 下関市王喜本町5丁目4番14号  
TEL.083-250-5533 FAX.083-250-5532

4. 特性に応じた対応の配慮や工夫がありましたら教えてください  
塩谷：絵カードを使って見通しを立てにくいとか、次に何をするのか、その都度確認した

い方、文字の情報では理解が難しい方などに、分かりやすく情報を伝えられます。

5. 施設を新しくした事で何か利用者さんに変化はありましたか  
松下：以前の古民家は段差が多く、肢体不自由のお子さんは、一度座つたらその場からあまり動かなかつたのです。

ここは完全バリアフリーなので、今では自分から歩いて好きなおもちゃを取りに行ったり、踊って



左から 管理者の宇内さん、塩谷さん、松下さん